

ラボ用、湿式押出造粒機 および整粒機



どのような基準で押出機、整粒機（マルメライザー）を選べば良いのでしょうか？

製剤設計や製造法の研究のため、押出機や整粒機をラボに導入する場合、どのような基準で最適な機種を選ぶかは悩ましいことです。お客様の要望は様々ですので、その全ての要望を満たすことのできる、夢のような装置はありません。

Caleva社はラボ用に3つの装置をご用意しております。これらの装置、またはその組み合わせにより、お客様のご要望に沿った形でのご提案ができます。このチャートはその組み合わせを決める際のヒントになります。

3つの考慮すべき点をご紹介します。

- 製作したいサンプルのバッチサイズ。これは装置を選ぶ際にもっとも重要なファクターです。
- 湿式押出機で製造する顆粒について、顆粒密度の変化による物性の変化まで研究する必要性はありますか？もしお客様が新規の処方を検討しているのであれば、製品の密度の影響を検討することも推奨いたします。
- 将来的にはスケールアップを考えており、その押出の生産機も検討している場合は、実用的かつコストも考慮し、検討しなくてはなりません。

キット	装置	主要用途	追加的なメリット	コメント
Caleva Multi Lab (CML)	<ul style="list-style-type: none"> • Caleva Multi Labは造粒、押出と整粒が1台で操作できるラボ装置です 	<ul style="list-style-type: none"> • バッチサイズは10～40g（サンプルの高密度によります）です。 • 実験時間の短縮と小スペース • 3つの機能を1台でき、コストの削減 • 簡単な装置の組み換えで、テスト時間を短縮 	<ul style="list-style-type: none"> • 高粘度なサンプル試作に適した攪拌用容器とブレード（オプション） • 比較可能な、一定したバッチサイズで安定したサンプル作成が可能 • 再現性が高い少量サンプル試作を簡単に製作でき、コストの削減 • サンプル密度を調節するための各種ダイ 	<ul style="list-style-type: none"> • 大学など教育現場での活用 • 様々な用途に応じた各種ヘッドを取り揃え、理想的な教育ツールとして • CMLを理想的なGLP/GMP整備教育ツールとして
Caleva Multi Bowl 整粒機	<ul style="list-style-type: none"> • スクリーン押出機20は吐出スクリーン幅を選ぶことができます。 • 様々なサイズの吐出部が選べるマルチタイプの横押出装置です 	<ul style="list-style-type: none"> • バッチサイズは50～1500g • 低い圧力でのスクリーン押出 • コスト競争力のある製造装置へのスケールアップも容易 	<ul style="list-style-type: none"> • 必要なものだけを購入し、将来、必要に応じてグレードアップ • 押出スクリーン厚みは1もしくは2mm、試作物の密度が変わります。 	<ul style="list-style-type: none"> • 様々なバッチサイズに対応したラボ装置のラインナップ
The Variable Density Kit	<ul style="list-style-type: none"> • Caleva社のマルチ押出造粒機 • 1台で様々なサイズの整粒作業が行えます 	<ul style="list-style-type: none"> • ダイサイズやダイ厚みを選択できる押出機 • 顆粒サンプルの密度が変わります 	<ul style="list-style-type: none"> • I製剤設計の幅が広がります • 様々なオプションにより開発製品の幅が広がります 	<ul style="list-style-type: none"> • バッチサイズが150から1500g • 2軸押出造粒機へのスケールアップが簡単に行える押出造粒システムです

Caleva社のラボ装置に共通のアドバンテージです

- 弊社のラボ装置で、実際に様々な装置を比較し、貴社の御用にと最も適した装置を選ぶことができます。
- ご希望の顆粒製造にピッタリな整粒機のディスク種類、クロスハッチやラジアルディスクなどをお選びできます。

ご質問は、info@caleva.com までemailにてご連絡ください。もしくは電話+44 (0) 1258 471122までご連絡ください。

TALK TO US

(株)樋口商会 医薬部 古野裕之

(T)06-6448-5533 (F)06-6448-5534

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-20-13



Cert No. 1503
ISO 9001